

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 大口弘和
 幹事 谷口優
 会報・雑誌委員長 山本英次

No.41

慈愛の種を播きましょう Sow the Seeds of Love

2002~2003年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル

きょうの例会

第999回 平成15年 6月17日(火)

友愛の日

先週の記録

第998回 平成15年 6月10日(火)

曇り

◆“それでこそロータリー”

◆出席報告

会員	71(65)名	出席	48名
出席率	73.85%		
前々回	5月27日(修正出席率)		92.06%

谷口幹事報告

1. 24日(火)の1000回例会への出・欠席の返事を出されていない方は、事務局までお願いします。

大口会長挨拶

エコノミークラス症候群

航空機のエコノミークラスのような狭い場所に長時間座ることで足の静脈に血の固まり(血栓)ができ、立ち上がった際に出来た血の塊が肺に達して血管が詰まる症状を「エコノミー症候群」(1977年に英国のサイモン医師が初めて論文で用いた)と言い、意識障害や呼吸困難などを引き起こし、稀に死亡することもある。昨年のサッカーワールドカップに出場できなかった高原直泰選手の例でも有名になりました。

1993年から8年間に44人(平均年齢61歳・女性40人・男性4人・平均搭乗時間12時間・半数近くが機内で一度も席を立たなかった)で確認され、そのうちの4人が死亡していたことが財団法人航空医学研究センターの調べで解った。定期国際便が発着する国内21の空港の周辺にある計111病院のうち8病院の記録をまとめたもので、多くの人がエコノミークラスに座っていましたが、6人はビジネスクラスを利用しており、「高齢者や女性、席を立つ回数の少ない人に多く、航空機の中では適切な運動を行うことが予防のために重

要である事が解った」

日本旅行医学会はエコノミークラス症候群では狭いエコノミー席が危険でビジネスやファーストクラスは安全であるかのような誤解を与えるので「ロングフライト血栓症」の名を提唱している。また日本宇宙航空環境医学会ではバス・列車・船などの交通機関を利用した人にも発症例があるので「旅行者血栓症」という名を提唱している。

正式には「深部静脈血栓症」「急性肺動脈血栓塞栓症」と言い病院でもベッドで安静にしているときに足に血栓ができ、リハビリや体を動かしたときに肺に回ることが多いと言う。予防法は血流を促進させるためにベッドで足を動かしたりマッサージをして血栓を作らないこととされています。

海外や遠方への出張の多いロータリアンには、ちょっとお気を付けいただきたいものです。

◆卓話

“生命保険業界の動向”

会員 奥本 文也君



ここ最近、新聞紙上に「生命保険予定利率の引き下げ問題」が盛んに取り上げられ生命保険(会社)への不安、不信感が高まっていることに対し、一業界人としてお詫びするとともに状況についてご説明したいと思います。

生命保険の保険料は、予定利率、予定死亡率、予定事業費率の3要素から算出され、非常に長期な契約(通常30年、50年以上も珍しくありません)、確定利回り商品という特徴があります。予定率は安全目に設定しますがバブル期の8-9%の高金利時、最大6%の予定利率が設定されました。現在の超低金利時代の運用パフォーマンスは2%程度ですからその差額を保険

会社が負担している(お客様のための資産を使っている)―これを「逆ぎや問題」といいます。日本生命の場合、全契約の平均予定利率は3-4%の間でH14年度の逆ぎや額は3200億でした。これは確かに大きな負担ですが、これを処理したうえで十分な利益を確保し、また自己資本の充実をはかっています。

H8年の日産生命の破綻以来、数社が破綻や外資への身売りで消えていきましたが、残った会社は十分な経営体力を持ち、またそれぞれに強みを持っており心配は無いと思います。むしろ、このような報道のなかで次はあの会社が危ない、その次はどこだという風評が流され解約が激増し保有契約が激減することが一番心配です。

「予定利率の引き下げ」は破綻に至る前に手を打とうというのですが、部分的解決に過ぎない、根本的に生命保険契約者の保護をどうするのかグランドデザインが描かれていないことへの不安、不満が根本にあります。これまでの破綻処理では一切公的資金は使われていません。しかし業界内だけで解決することは逆に契約者に不利益を与えかねません。

私見ですが万一破綻が起こった場合、銀行のペイオフのように例えば死亡保障は全額保障する、満期金は一定額まで全額保障、超えた部分については〇割まで保障する。施行時期を定め、契約者の判断で対応する等です。

生命保険会社、業界ともにもっと具体的に経営状況の公開を行い、契約者、国民の理解を得る努力を重ねる必要があります。そのなかで逆ぎやをどうする、破綻時はこうするといった方向性を示し国民的コンセンサスを得ることが喫緊の課題と思います。

最後になりますが予定利率の引き下げは、あくまでも各社の個別申請で行われ全社一律に実施されるものではないこと、また仮に引き下げとしても最低保障利率は今新規に加入するよりも有利ですから特に貯蓄性保険は是非そのままお続けされることをお勧めします。皆様の信頼を回復し安心して加入いただけるよう更に努力していく所存です。

“紛争解決から紛争予防へ”

会員 油田 弘佑君



危機管理・リスク管理が焦眉の急といわれ、その範囲は国家や自治体のテロ・SARS等から会社個人の財産取引、個人の老後・死後まで幅広いが、一口でいえば「紛争の予防」ということである。

わが国では、これまで紛争が生じても天災地変、運命のせいにして紛争の予防という事を軽視してきた。とりわけ司法に関する紛争、法的紛争については頭も使わずお金もかけてこなかったきらいがある。

目下進行中の司法改革も紛争をいかに早く解決するかという観点から頭を使いお金をかけようとしているものの紛争の予防には一言も言及していない。

しかし今後規制緩和がますます進むと紛争が増加すること必定で司法改革が進める紛争解決の諸方策が実施されても、かける費用と努力の割には期待される成果がすぐに上がるとは思われない。紛争が今以上に増加しないよう予防に頭とお金を使うのが対費用効果の面で賢い方法ではなからうか。

法的紛争を予防する方法としては①事前における専門家との相談・その意見聴取②契約書の作成③公正証書の作成④登記の経由などが考えられる。

これらはいずれも何がしかの費用がかかるが、決して無駄金にはならない。紛争が発生し裁判になるとその費用は紛争予防の比ではない。しかも裁判では供述証言よりも文書類が証拠としての力が強い。特に公正証書の証拠としての力は抜群である。このような証拠が揃っておれば裁判で速やかに勝つこと請け合い、相手方としても負けること承知で裁判は望まず紛争自体が発生しないし発生してもその拡大は防がれる。

あたかも予防医学の面で長野県が頭とお金を使い長寿県となったように、今後司法予防に益々頭とお金が使われ人々の関心が紛争の予防に寄せられることを願うものである。

ニコボックス

河合 隆二
先日は退屈な卓話を我慢して聞いて頂き、有難うございました。
大口 弘和
新入会員の油田さんをお迎えて。
秋山 茂則
今日は時の記念日。
時間を大切にしましょう。
浅井 誠寿
今日の中日新聞の中日春秋に、飯田龍太氏の「六月はどこか曖昧な印象」との言が引用してありました。これに同感して一句。
心と身 どこかちぐはぐ 青嵐

水野 民也
星ヶ丘第一ビル改築の為、解体工事が始まりました。
在田 忠之・萩原喜代子
林 哲央・池田 隆
池森 由幸・櫻尾 富二
加藤 大豊・河村 政孝
木原 喜造・菊池 昭元
小林 明・小山 雅弘
小坂井 盛朗・久野 峯一
松居 敬二・松永 正史
宮尾 紘司・三好 親
西川 豊長・奥本 文也

佐久間 良治・佐野 寛
笹野 義春・澤田 淳治
鈴木 正男・鈴木 理之
竹内 眞三・谷口 優
舎人 経昭・和田 正敏
山田 壽勝・山本 英次
吉田 節美・吉田 玄
梅雨入り宣言となりました。
水野 賀續
梅雨入り宣言となりました。
夫人誕生日祝い。

合計
57,000円